

## 白神自然環境研究所教授会議事要旨

日 時：平成29年4月28日（金）9時00分～10時03分  
場 所：総合教育棟1階 共用会議室  
出席者：檜垣所長，石川副所長，本多，山岸，大高，中村，丹波，松山，石田  
欠席者：殿内，東，上條（いずれも委任状提出）  
事 務：小田桐，粕谷，肥後

議事に先立ち，所長から3月28日開催の教授会議事要旨（案）の確認が行われ，承認された。

### 【審議事項】

な し

### 【報告事項】

#### 1 平成29年度支出予算額について

所長から，資料1に基づき平成29年度支出予算額について，概略次のとおり説明があり，次回教授会に実施計画を諮ることとした。

- (1) 一般会計が全体で14,470千円が配分されている。昨年度よりかなり減額となっている。特別会計にも1,300千円記載されているが，これは科学研究費補助金が採択されることを見込んだものであり，今回は採択者がいなかったため配分されないことになる。
- (2) トップマネジメント経費については，ミッション達成経費として1,905千円が配分されているが，昨年度より減額となっている。
- (3) 研究経費については，9,834千円が配分されており，これは2月に示された基準額とほぼ同額となっている。
- (4) 管理運営経費についても，2,635千円が配分されているが，昨年度よりかなり減額となっている。
- (5) このような予算形態となると，モニタリングなどの重要な予算確保のためには，観察園のLAN回線使用料の見直し（西目屋村からの情報収集やセキュリティも含め）や地下水の浄化回数の見直しなどいくつかの点で減額を講じる必要がある。

#### 2 研究所の農学生命科学部への移行検討

所長から，資料2に基づき研究所の農学生命科学部への移行検討について，概略次のとおり説明があった。

- (1) 4月にWGによる再編案完成を目指していたが，新大学院構想との関わりでWGによる再編案が5月上旬となること。
- (2) スペースについては，学部の標本を含めた候補場所を条件明示していくこと。
- (3) 農学生命科学部事務長作成の再編案で，学部からの要望（裁量ポイントの正規化）を説明する文章を作成すること。
- (4) 教員評価について，来年以降は農学生命科学部の研究所評価となるが，現行評価となるか見直しが必要となるのか検討が必要となること。
- (5) 5月以降のスケジュール。

### 3 モニタリング計画案について

副所長から、資料3に基づきモニタリング計画案について、概略次のとおり説明があった。

- (1) モニタリングについては、非常に重要視していること。
- (2) 関係省庁との協力を得るためのモニタリング構想でもあること。
- (3) 「主要稜線域のモニタリング」、「流域単位のモニタリング」の2本立てで、所長と専任担当教員主体で進めていく。兼任担当教員におかれては本構想に協力できることがあれば、意見をいただきたいこと。
- (4) 今後は関係省庁に協力を仰ぎつつ調整しながら進めていくこと。

### 4 所長報告

所長から、資料4-1～4-3に基づき、概略次のとおり報告があった。

#### (1) 企画戦略会議

- ①学長から、新委員等の紹介があったこと。
- ②理事（企画担当）から、教育研究院について本学ホームページで公開している旨の説明があったこと。
- ③理事（企画担当）から、教員業績評価について2部局で未提出者がいたこと。

#### (2) 教育研究評議会

- ①海外の4大学と大学間交流協定が締結されたこと。
- ②教育研究院教員選考規程の一部改正が承認されたこと。
- ③平成29年度入試結果に関すること。
- ④京都大学山極総長による研究・イノベーション推進機構学術講演会が開催されること。
- ⑤青森市長による講演会が開催されること。
- ⑥藤崎農場において、「リンゴとチューリップのフェスティバル」が開催されること。
- ⑦防衛省予算における研究助成費への対応について、本学においては今年度の応募は認めないこと。

### 5 その他

- (1) 専任担当教員から、本学出版会より「知の散歩シリーズ」として白神をテーマに執筆してほしい旨の依頼があり、今後専任担当教員間で検討していく旨の報告があった。
- (2) 専任担当教員から、本学資料館より7月以降の企画展に白神をテーマに出展できないかとの打診があり、この件についても今後専任担当教員間で検討していく旨の報告があった。

以 上

次回以降開催予定

※平成29年5月は後日調整の上で決定する。